



和田誠 画『巴里のアメリカ人』(2011年) 画像提供:和田誠事務所



2023.12.12^(火) - 2024.3.24^(日)

*月曜日および12月26日(火)-1月4日(木)は休室です。

国立映画アーカイブ展示室(7階)

開室時間:午前11時-午後6時30分(入室は午後6時まで) *1/26、2/23の金曜日は開室時間を午後8時まで延長いたします。(入室は午後7時30分まで)

料金:一般250円(200円)/大学生130円(60円)/65歳以上、高校生以下及び18歳未満、障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料 *料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。*()内は20名以上の団体料金です。 *学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。

*国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

主催:国立映画アーカイブ

協力:和田誠事務所、多摩美術大学アートアーカイブセンター

国立映画アーカイブホームページ www.nfaj.go.jp/

X(旧Twitter):@NFAJ_PR Facebook:NFAJPR Instagram:nationalfilmarchiveofjapan

「展覧会」
和田誠
映画の仕事

日本を代表するグラフィックデザイナー、イラストレーターの和田誠(1936~2019)にとって、映画は人生の友であり、創造の泉でもありました。

少年期からの映画への情熱に支えられ、若手デザイナーとして頭角を現すや、本職の傍ら映画ポスターの制作やアニメーション映画にも挑みました。やがてその味わいある画風は広く支持され、世界の映画人を描いた無数のイラストレーションや、映画をめぐる著書や対談集を続々と送り出してゆきます。さらにその情熱は日本映画界を動かし、監督修業の経験なしに『麻雀放浪記』(1984年)をはじめ4本の優れた長篇娯楽映画を監督するに至りました。

また私生活でも、熱意をもってアメリカ映画のフィルムやポスターのコレクションを築き、当館も2015年の展覧会「ポスターでみる映画史Part 2 ミュージカル映画の世界」にそのコレクションをご貸与いただきました。

その博覧強記にもかかわらず、「評論家」ではなく常に“映画ファン”を自称していた和田誠。この展覧会は、日本が生んだこの最高の“映画ファン”の限りない映画愛を感じ取れる絶好の機会となるでしょう。

For Makoto Wada (1936-2019), one of Japan's leading graphic designers and illustrators, film was a lifelong friend and source of creativity.

Possessing a passion for film since boyhood, Wada distinguished himself as a young designer and tried his hand at creating movie posters and animated films while maintaining a regular job. His charming style soon gained widespread acclaim, leading him to produce countless illustrations of international movie stars along with a series of books and dialogues on movies. His passion became a force in Japanese cinema and spurred him to direct four outstanding feature-length entertainment films, including *Mahjong Horoki* (1984), without prior training as a director.

Wada was also an enthusiastic collector of American films and posters in his private life. In 2015, he loaned his collection to the National Film Center for its exhibition "Film History in Posters Part 2: Musical Films."

Makoto Wada had an encyclopedic knowledge of film and an incredible memory. Yet, despite these attributes, he always considered himself a *movie fan* rather than a "critic" or "commentator." This exhibition will provide an excellent opportunity to become acquainted with Japan's greatest movie fan and his boundless love for cinema.



展覧会の構成

- 映画を知った 映画館通いに励んだ少年時代とポスター作りへの志
- 映画を描いた 映画ポスターへの挑戦、そして華麗な映画人イラストレーション
- 映画を語った 「お楽しみはこれからだ」—終わらない映画談義と映画書の数々
- 映画を集めた 仕事場は映画館だった—和田誠の映画&ポスターコレクション
- 映画を撮った アニメーションへの情熱、そして劇映画監督としての道のり

トークイベント——《監督・和田誠》を忘れない!

監督・和田誠の素顔

2024年1月20日(土)
講師: 関口裕子氏(『キネマ旬報』元編集長)
場所: 展示室ロビー(7階)

和田誠作品の映画美術

2024年2月10日(土)
講師: 小澤秀高氏(『麻雀放浪記』美術助手、『怖がる人々』美術監督)
場所: 展示室ロビー(7階)

企画の見どころと展示品解説

2024年3月16日(土)
講師: 岡田秀則(当館主任研究員)
場所: 展示室内(7階)

*詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。



関連書籍〈展覧会公式図録〉

『和田誠 映画の仕事』

[監修] 国立映画アーカイブ [発行] 国書刊行会
[刊行予定日] 2023年12月12日
ISBN: 978-4-336-07579-6
A4変型判・並製 予価: 本体3,500円+税

関連上映企画「NFAJコレクション 2024 冬」

2024年1月19日(金)~2月4日(日) ※金・土・日曜のみ 小ホールにて
上記企画の中で和田誠監督作『麻雀放浪記』(1984年)、『怪盗ジゴマ 音楽篇』(1988年)、参加作『恋の大冒険』(1970年、羽仁進監督)などの上映を予定しています。

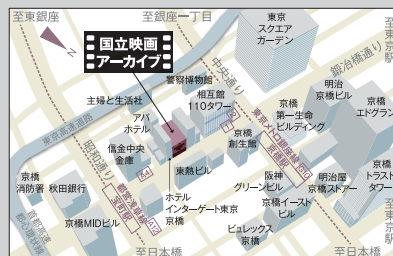
*上映日時やチケット購入などの詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

図版(表記なし=国立映画アーカイブ所蔵) ❶『国立近代美術館「アメリカ映画講座 チャップリンの歩み」ポスター(1959年) ❷『ギャルソン』(1983年、クロード・ソーテ監督)ポスター ❸『台風クラブ』(1985年、相米慎二監督)ポスター ❹和田誠旧蔵『キス・ミー・ケイト』(1953年、ジョージ・シンドニー監督)アメリカ版ポスター ❺書籍 キャメロン・クロウ『ワイルダーならどうする?』(2000年) ❻和田誠著『お楽しみはこれからだ(Part 1)』(1975年) ❼『麻雀放浪記』(1984年、和田誠監督)絵コンテ[複写] 個人蔵(澤井信一郎氏旧蔵) ❽和田誠事務所フィルム収蔵庫 撮影: 吉田宏子



長瀬映像文化財団

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6
お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600
国立映画アーカイブホームページ
www.nfaj.go.jp/



交通

- ▶東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- ▶都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- ▶東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- ▶JR 東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

